

2010年3月4日

報道各位

日鉱金属株式会社

インテル コーポレーションから
「プリファード・クオリティー・サプライヤー (PQS) 賞」を受賞

日鉱金属株式会社は本日、インテル コーポレーションからプリファード・クオリティー・サプライヤー (PQS) 賞を受賞しました。2009年度は16社がPQS賞を受賞しています。日鉱金属はインテルの成功に欠かせないスパッター・ターゲットを供給し、多大な貢献をしたことで今回の受賞となりました。

日鉱金属株式会社 電材加工事業本部 薄膜材料事業部執行役員の澤村一郎氏は「過去8年間で7回目となる今回のPQS受賞できたことは大変な光栄です。本受賞は、当社が半導体用ターゲットの業界リーダーであることの証左と考えております。これを励みとして、再びインテルの最高峰アワードであるSCQIを受賞できるように努力を続けますし、またその挑戦の準備は出来ています。」と述べております。

インテル コーポレーション ファブ資材部長のジム・ハリソンは「PQS賞の受賞を心よりお祝いいたします。今回の受賞は、厳しいプロセス管理により、世界最高水準の品質を一貫して提供したことを示すものです。日鉱金属は、複数のレアメタル、合金 および精製困難な金属材料ターゲットの供給を通じて技術開発に貢献しました」と述べています。

PQS賞はインテルのサプライヤー・コンテニユアス・クオリティー・インプループメント・プログラムの一環として、供給企業に継続的かつ卓越した改善を奨励するために設けられた賞です。PQS賞の受賞には、コスト、品質、供給体制、納期、技術力、および顧客満足度において80%以上のスコアを獲得することが条件とされています。また、供給企業は厳しい改善計画に対して80%以上のスコアを獲得し、安定した品質およびビジネスシステムを実践することが求められます。2009年度の受賞企業は、行動規範 (Electronic Industry Citizenship Coalition Code of Conduct) ならびにインテルの環境・社会・ガバナンスプログラムに対する適合を実践されました。SCQIプログラムの詳細については<http://supplier.intel.com/quality>をご覧ください。

PQS受賞企業への授賞式は本年3月、東京ならびに米国カリフォルニア州アナハイムにて開催されます。また、3月31日付け「The Wall Street Journal」紙米国版、ならびに4月1日付けの欧州/アジア版に広告を掲載するほか、インテルのウェブサイト<http://www.intel.com/>での授賞記念広告の掲載を予定しています。

日鉱金属株式会社はスパッタリングターゲット、化合物半導体材料、銅箔のマーケットで世界的に高いシェアを有している。同社は、スパッタリングターゲット業界のリーダーとして、半導体用に加え、FPDやデジタル記録デバイス、相変化デバイス向けにも高品質のターゲットを製造し、ワールドワイドな事業所展開により全世界の顧客をサポートしている。日鉱金属グループは、上流の「資源開発事業」、中流の「製錬事業」および下流の「環境リサイクル事業」、「電子材料加工事業」までの幅広い事業領域を持つ総合非鉄メーカーである。

*インテル、Intel、Intel ロゴは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。その他の社名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

以上

【お問い合わせ先】

日鉱金属株式会社
総務部総務担当 河田 榑崎
TEL:03-5573-7223